

5 戦略

Hondaのサステナビリティ	13
持続的な成長のために	14
2030年ビジョン	15
地球環境負荷ゼロ達成に向けた 取り組み	16
マテリアリティ分析	19
Hondaの取り組みとSDGs	20
サステナビリティマネジメント体制	23
ステークホルダーエンゲージメント	24
研究開発	28
— イノベーションマネジメント	29

イノベーションマネジメント

オープンイノベーションを通じた新規領域への
取り組み

Honda の研究開発子会社である株式会社本田技術研究所は、従来の機械工学に加えて、脳研究や視覚・聴覚認識など最先端の知能化研究をさらに進化させることを目的に、2003年に株式会社ホンダ・リサーチ・インスティテュートを設立。ドイツ・フランクフルト、米国・シリコンバレーおよびコロンバス、日本・埼玉県和光市に拠点を設け、先進科学研究者とのネットワークを構築し、研究領域の進化と発展に取り組んできました。

また、米国・シリコンバレーにある現地法人 Honda Innovations, Inc. では、革新的なスタートアップ企業との共創・オープンイノベーションに取り組んでいます。2015年より「Honda Xcelerator (ホンダ・エクセラレーター)」プログラムを、シリコンバレーを中心に、イスラエル、欧州、中国、日本などで推進してきました。

Honda Xcelerator は、革新的なアイデアを持つスタートアップ企業に対し、資金やコラボレーションの場、テスト用車両、Honda のメンターによるサポートなどを提供するプログラムです。パーソナルモビリティ、自動運転、人工知能、先進素材、ロボティクス、エネルギー、ヒューマン・マシン・インターフェース、製造技術などの基礎技術の研究開発に加え、カーボンニュートラル社会や資源循環・リサイクルといったサステナブルな事業環境に向け、事業開発や協業・アライアンスの構築にも取り組んでいます。

従業員のアイデア・夢を実現する新事業創出プログラム
「IGNITION」

IGNITION は、すべての従業員が新事業創出にチャレンジできる社内公募型プログラムです。2017年に株式会社本田技術研究所で開始し、2021年4月からは全社展開を開始。これにより、すべての従業員が新事業創出にチャ

レンジできるようになりました。

本プログラムはベンチャーキャピタルと連携して進めており、審査過程では投資家視点での厳しい審査とアドバイス、社内タスクフォースによる事業検討の支援を受けることができます。これらの過程を経て、同年6月にはIGNITION 発のベンチャー企業第1号として株式会社 Ashirase、8月には第2号となる株式会社ストリーモが設立されました。

本プログラムの最大の目的は、これらの尖ったアイデアを育て、新しい価値を創造してスピーディに社会課題の解決に結びつけることです。自社のみでなく、これらベンチャー企業の創出や外部企業とのオープンイノベーションを通じた価値創造にも積極的に取り組み、社会実装を拡大していくことで、これまで以上に多様な価値を幅広いお客様に提供していきたいと考えています。

Honda は創業以来、一人ひとりの従業員が持つアイデア・夢を尊重し、新たな価値の創造にチャレンジしてきました。技術者だけでなく、生産や営業、管理などさまざまな部門の多様な従業員が持つアイデア・夢を、組織やエキスパートの支援を得ながら自ら率先して実現していくことで、まだ世の中にはないモノやコトを創造していくとともに、イノベーションを生み出す組織風土を大切に育てていきます。